

リオデジャネイロ日本商工会議所年表

年	月	商工会議所	ブラジル	日本	世界
1955年	9月	日伯商業会議所設立（25日）	ロット陸相次期大統領就任妨害に対する予防クーデター行動 バンコク博覧会を企画 実施に至らず	ガット加入発行（9月） 第3次鳩山内閣成立（11月）	米対南ベトナム国直接介入開始 亜国ペロン大統領辞任
	11月	商業会議所会報発行を決定			
	12月	会議所事務所を日伯文化センター内に置くこと決定			
1956年	1月	会議所定款官報に発表	クビチェック大統領就任 5ヶ年計画工業化政策（5年間に50年）実施開始 ブラジリア建設工事開始 ウジミナス第1次調査団来泊（10月）	日本国連加盟承認（12月） 石橋湛山内閣成立（12月）	エジプト・スエズ運河国有化宣言（7月） イスラエル・エジプト戦争開始（10月）
	2月	通産省板垣通商部長 生駒輸入課長歓迎会 於 Mesbla、会員証発行			
	3月	安東駐伯大使に名誉会頭就任を要請			
	4月	東京銀行支店開設			
		Federação das Câmaras de Comércio Exterior（外国貿易商工会議所連盟）に入会			
	5月	日伯間貿易促進策をFederaçãoに提出 対日綿花輸出中断			
	6月	岡松日本商工会議所専務理事来訪			
	7月	Dr. Orlando Soares de Carvalhoに名誉副会頭就任を要請			
	8月	万博に参加するよう招請を受ける			
	9月	植村甲午郎団長の経済使節団来伯			
	10月	高橋時中臣会頭、蜂谷健九郎副会頭、泉田行敬専務理事 亀井紹雄会計理事 就任			
	11月	日本鋼鉄ミッション来伯			
	12月	鉄鋼ミッションの視察結果報告			
1957年	1月	堀坂一等書記官 ー 日伯通商協定について講演	工場設備輸入のための関税優遇措置發布 ウジミナス第2次調査団来泊（4/6月） 岸総理来泊	岸内閣成立（5月） 東海村原子炉点火（8月） 日ソ通商条約調印（12月）	欧州共同市場条約調印（3月） 英水爆初実験（5月） ソ連人工衛星打ち上げ成功（10月）
	3月	高橋会頭訪日			
	4月	高橋会頭帰伯			
	6月	堀坂書記官の提案により日伯貿易促進のための関係者会議招集			
	7月	国会議員団訪伯			
	8月	会議所事務所を東銀の2階へ移転（文化センター移転の為）秘書を採用			
		渋沢敬三大使訪伯			
	9月	堀坂参事官より先月行われた経済会議について報告			
		大洋漁業大西常務訪伯漁業協力交渉開始			

1958年	7月	国会議員団が第44回国議会議員会議参加のため来伯 南条代議士団長　－　会議所懇談会開催	日本側参加の下ウジミナス設立（4月） 日本移民50周年記念に三笠宮ご来泊（6月） イニャウス造船所定礎式（12月）		
	9月	理事会全員再選			
		日伯新通商協定に関し商工会議所として伯銀為替局長Paulo Pook Corrêa氏と会談			
	10月	技術協力ミッション来伯			
		日伯新貿易支払い協定調印さる			
11月	リオとサンパウロ商工会議所に日本よりの補助金下附さる				
1959年	2月	巡行見本市船リオに寄港	イシブラス設立（1月） SUDENE（東北開発庁）設立 見本市船アトラス丸訪伯	皇太子殿下ご結婚（4月） 岸総理訪伯	キューバ革命（1月） 中国毛沢東主席辞任（4月）
	7月	岸信介首相リオ訪問			
	8月	日本よりの技術協力団と会談			
		堀江東銀頭取来訪			
1960年	1月	蜂谷副会頭航空事故で死去	ブラジリアに遷都（4月）	日米安保条約調印（1月） 安保阻止デモ条約発効（6月） 池田内閣成立（7月） 民主社会党結成（10月） 浅沼社会党委員長暗殺さる（10月） 石川島播磨重工発足（12月）	仏、初の原爆実験（2月） 米U2型機ソ連領空侵犯撃墜さる（5月） ケネディー大統領当選（11月）
		高橋会頭帰国のため会頭辞任			
		玉川弘之氏会頭就任　8月まで			
		鈴木重之氏副会頭就任　8月まで			
	9月	理事会全員再選　1962年まで　専任書記長職設置			
	12月	後藤武夫元会頭リオ名誉市民となる			
1961年	5月	安東大使送別会　於　フルミネンセクラブ	ジャニオクワドロス大統領就任（1月） するも8月辞任 議会主義導入内閣制度採択 ネーベス氏第一代首相就任 ジョンゴラル大統領就任するもその左傾的行動が不信任を招き政界・軍部・労働者階級の相克緊張を加える クビチェック元大統領訪日		キューバ内戦（4月） 東西ベルリン境界封鎖（8月） 経済協力開発機構発足（9月）
	7月	田付大使歓迎会　於　Clube Comercial			
	8月	南条徳男元農相歓迎会　中南米公館長会議出席者歓迎			
	9月	電気通信ミッション歓迎会			
	10月	ラ米協会秋山専務理事来訪			
	12月	鈴木重之副会頭帰国のため辞任　COPEG創立			
1962年	2月	沢村商会内に事務所を移す	インフレ益々激化 ストライキ続発　政情不安定 アクレ直轄区州に昇格 ウウジミナス火入れ式（10月）	貿易自由化率約88%に拡大（10月） 吉田元総理訪伯	中印軍チベット国境で交戦（9月） 米キューバ海上封鎖（10月）
		堀重雄氏（三井物産）副会頭に就任			
	6月	島参事官着任			
	9月	柳田協力基金総裁来訪　理事会改選の結果全員留任			
	12月	米田書記官帰国			

1963年	1月	向坂正夫経済企画庁企画部長来訪	国民投票により議会主義を廃し、大統領制復活（6月） 外資法成立	日ソ貿易協定調印（2月） 第2次池田内閣成立（12月）	ケネディー大統領暗殺（11月）され ジョンソン大統領就任
	5月	伊藤総領事帰国			
	9月	パラナ州水害地見舞金拠出			
	10月	日本工作機械ミッション来訪			
1964年	2月	玉川会頭帰国のため辞任　今沢東銀支店長後任会頭に選任	革命によりゴラル大統領失脚亡命（ウルグアイ） カステロ・ブランコ元帥大統領に就任（4月） 左翼政治家を追放 外資法改正さる 価値修正法発布 資本市場法発布	IMF8条国へ移行（4月） OECDへ正式加盟（4月） 東京オリンピック開催（10月） 佐藤内閣成立（11月）	米、北ベトナム爆撃開始（8月） ソ連フルチョフ首相解任 コスイギン首相　ブレジネフ書記長任命（10月） 中国初の核爆発実験（10月）
	6月	古河参事官機構送別会			
	7月	中南米公館長会議参加者来訪			
	9月	理事会改選の結果全員再任さる　生方泰二氏帰国			
	10月	堀井副会頭帰国のため辞任　原泰三氏後任副会頭に就任　会費増額承認さる			
1965年	3月	水上経済ミッション来伯	クルゼイロ　デノミ法発布 中央銀行設立（4月） FINAME設立（3月） 政党取消し（軍政令2） 与党野党各一党とする（10月） 戦後初大型経済使節団（3月）	佐藤首相訪米（1月） 朝永博士ノーベル物理賞受賞（10月） 国連安保理事会非常任理事国となる	ソ連、初の宇宙遊泳成功（3月） 印度パキスタン紛争（9月）
	9月	北川経済ミッション来伯			
	10月	高橋元会頭　イシブラス山倉副社長帰国送別会			
	12月	原副会頭帰国のため辞任			
1966年	1月	水上副会頭就任	アデマール・デ・バーロス聖州知事追放さる	建国記念日政令発布（12月） 椎名外相訪伯	中国文化革命激化（8月）
	2月	水害見舞金を州厚生長官に届ける　商工会議所ウジミナス訪問			
	9月	理事会改選全員再選さる			
1967年	2月	今沢会頭サンパウロ転勤のため辞任　折田党员支店長会頭就任	コスタ・エ・シルバ新大統領就任 新憲法公布（3月） ペトロキーザ設立 石油コンビナート計画開始	第2次佐藤内閣成立（2月） 佐藤外遊反対運動（9月） コスタ・エ・シルバ大統領就任直前訪日（2月） ジュラシー・マガリャンエス外相訪日 皇太子夫妻訪伯　天皇御名代	中東戦争開始（6月） 中国水爆実験（6月） チェゲバラ　ボリビア軍に射殺される（10月） 仏ドゴール大統領　英国の欧州共同市場への加入を阻止（11月）
	3月	輸出入銀行白土首席駐在員帰国			
	5月	皇太子夫妻グアナバラ州御訪問			
	6月	田付大使帰国			
	7月	松本査察使（大使）来訪			
	9月	IMF総会リオで開催　水田蔵相　宇佐美日銀総裁来伯歓迎会			
	10月	千葉大使着任			
1968年	2月	リオデジャネイロ、サンパウロ、ポルトアレグレの3商工会議所合同会議リオで開催	軍政令5号発布議会閉鎖 政治かの追放 街頭デモ激しくなる 大堀イシブラス副社長就任	八幡、富士合併を発表（4月） 小笠原諸島返還さる 川端康成ノーベル文学賞受く 三億円強奪事件 マガリャンエス・ピント外相訪日	米、北ベトナム空爆停止（10月） 米大統領選ニクソン再選（11月）
		マガリャンエス・ピント外相東京で開催の日伯通商会議に出席			
	5月	移住振興風間代表帰国			
	9月	理事会改選　―　全理事再選さる　宇都宮書記官（通商担当）帰国			
	10月	日本政府派遣経済視察団（長谷川団長）歓迎会			

1969年	2月	海外事業団太田良一理事来訪	コスタ・エ・シルバ大統領病死（9月） メディシ大統領就任（10月） C D I（工業開発審議会）創立（8月） 外交官誘拐 続発	東名高速道路全通	ドゴール仏政権失脚 ポンピドー政権と交代（6月） 米国ベトナム戦争より撤退決定（6月） ポーチミン北ベトナム首席死去（9月）
	5月	巡行見本市船来港（20日～23日）			
	10月	折田会頭帰国のため辞任 大堀義信氏（イシプラス副社長）選出され就任			
	11月	会議所事務所をイシプラスに移す			
1970年	3月	伯国貿易会議サンパウロ市で開催	ファビオ・安田商工相辞任 領海12マイルより120マイルに拡張決定 アマゾン横断道路建設工事着工（10月） ブラジル・サッカー世界選手権大会で三勝	第3次佐藤内閣成立（1月） 核防衛条約に調印 国産初の人工衛星打上げ成功 沖縄の国政参加選挙（11月） 愛知外相訪伯 ギブソン・バルボーザ外相訪問	カンビジア内戦 米国と南ベトナムが干渉（5月） 英国総選挙で保守党勝ち ヒース首相就任（5月）
	9月	東銀専務横山宗一氏講演 理事会選出 会頭再選			
1971年	6月	会議所事務所を総領事館内に移す	農民援助計画（PRORURAL）教育制度 住宅建設計画等社会民生甲斐良作を実施する	沖縄返還協定調印（6月） 環境庁発足（7月） 円変動相場制に移行（8月） 天皇欧州親善旅行（9月） クビチェック元大統領訪日プラチニ 商工相訪日 コルセッチ通信相訪日	ニクソン大統領ドル防衛発表（7月） 英国のEC加盟決定（6月） 国連に中国復帰 台湾脱退（10月） インド/パキスタン全面戦争（11月）
	9月	定款一部改正			
	10月	日語学校子弟教育会発足			
	12月	定款改正 名称変更 日伯商業会議所を改めリオデジャネイロ日本商工会議所と称す			
		土光ミッションの歓迎会			
1972年	6月	貿易合同会議 於ブエニスイアレス 会頭出席	カラーTV放送開始 日本企業対伯進出ブーム始まる 伯葡権利義務平等条約締結 リオ日系協会誕生（3月）	日米繊維協定調印（1月） 田中内閣成立（7月） 田中首相訪中国交正常化の共同声明に調印（9月） 第2次田中内閣成立（12月） ペローゾ企画相訪日 デリフィンエ ット蔵相（2回） パッサリーニョ 文相訪日	ニクソン大統領訪中（2月） ニクソン大統領訪ソ（5月） ベルリン協定調印（6月） ニクソン大統領再選（11月） 東西両独基本条約に調印（12月）
	8月	日本練習艦隊の歓迎会			
		日語学校新校舎落成式			
		大阪商工会議所ミッション懇談会			
		中南米投融資調査団懇談会			
	9月	定款改正 宇佐美会頭選出さる 任期2年			
	10月	海外ブランド貿易会議 於グロリアホテル ー 会頭出席			
1973年	12月	Trading Co. 法につきDr. IKEDA関税審議会議長の説明を聞く会を開催	伯・ボリビア間でガス、鉄、セメントの取引に関する合意成立（12月） リマ農相政府内意見の相違の為辞職（5月） 与党の次期大統領候補にエルネスト・ガイゼル將軍指名される 民間日伯経済合同委員会第一回会合（8	資本自由化100%原則を閣議決定 田中首相、大平外相訪米（7月） 田中首相訪欧 訪ソ（9月） 石油緊急事態を告示（12月） 藤山特使大使訪伯 ジラス・レイテ鉱山動力相訪日	ベトナム平和協定調印（1月） 東西両独国連に加盟 亜国ペロン政権復活（10月） チリクーデター アジェンデ大統領死亡（9月）
		会議所事務局を日系協会に移す			
	3月	ブラジル水害見舞金の拠出 サンパウロと合同経済懇談会			
	9月	宇山大使歓迎会 大堀義信元会頭逝去（12日）			
	11月	名誉会頭荒木総領事セネガル大使に栄転			
		平野総領事を新名誉会頭として迎える			

1974年	7月	宇佐美会頭ブラジル東京銀行頭取としてサンパウロへ栄転 川北副会頭会頭に就任 リオ日本人学校建設用地20.000m ² 購入	ガイゼル大統領就任（3月） 植木鉦山動力相誕生（3月） 第2次国家開発計画発表さる 経済開発審議会（CDE）発足 社会保障省発足 リオ州・グァナバラ州合併（8月） インフレ再燃（33%） 第2次造船計画発表（5.3百万トン750隻） Consider設立（8月） Petrobrasがカンボス沖に豊富な油田を発見 伯巴でイタイブ発電所建設に関し合意 ブラジル政府輸入規制を強化、国産率上昇を奨励	田中首相訪伯（9月） ガイゼル大統領と会談（アルミ農業開発港湾計画） フォード大統領訪日（11月） 三木内閣発足（12月） 前田正男特派大使（ガイゼル就任式参列） 巡行見本市船来泊（10月）	ボルトガルでクーデター スピノラ大統領就任（4月） インド初の地下核実験（5月） 仏デスタン大統領就任（5月） ニクソン大統領訪ソ 地下核実験制限条約調印（6月） ニクソン大統領ウォーターゲート事件に関連し時任 フォード大統領就任（8月）
	9月	生方会頭選出 新理事発足 田中首相訪伯 歓迎会			
	10月	巡行見本市船に対する協力			
1975年	3月	対伯貿易促進交流団歓迎昼食会 官民合同貿易会議への参加 会頭 副会頭	ブラジル西独と核協定締結（6月） ウジメック稼働開始（7月） ポルトプラス設立 ペトロプラスが石油採掘のリスク契約を決定 政府輸入 観光国外旅行制限等外貨防衛策とる Procentro（セラード開発プログラム制定）さる 福田副総理来伯（9月）	統一地方選挙（4月） 沖縄国際海洋博開催（7月） 経営難で「興人」倒産（8月） 第4次不況対策決定（9月） 天皇・皇后陛下御訪米（10月） 政府スト権基本方針決定 空前のスト収束（12月）	英保守党総裁にサッチャー女史就任（2月） サイゴン陥落ベトナム戦争終結（4月） 主要先進国首脳会議（11月） フォード大統領訪中（12月） スペイン王政復活（11月）
	7月	ラプラタミッション（永野重雄団長）歓迎昼食会			
	8月	福田副総理来伯歓迎昼食会 在外企業協会調査団へ協力昼食会 企画大臣との懇談会 会頭出席 Fundo Comunitárioへの寄付幹旋			
		海外子女教育財団視察団との懇談会			
		平野総領事夫妻歓迎会（日系協会と共催）			
	9月				
	11月	日本船舶用機輸出振興視察団との懇談会			
1976年	5月	石井総領事夫妻歓迎会 吉田大使歓迎昼食会	ガイゼル大統領ヨーロッパ訪問 一製鉄 鉄道計画の英独仏の融資決定（4月） ペトロプラスはBritish Petrobunとリスク契約第一号に調印（9月） コジッパ第2高炉火入れ式（7月） クビチェック元大統領交通事故で死去（8月） FIAT自動車工場稼働開始 ガイゼル大統領訪日 経済協力 数件決定ーアルプラス ツバロンその他 伯政府投資計画を大中にカット 新株株式会社法発布（12月）	河本通産相訪伯（7月） 植木鉦山動力相訪日 ガイゼル大統領訪日（9月） ロッキード事件明るみに出る（2月） 伊藤忠と安宅業務提携（1月） ヨルダン国王夫妻訪日（3月） MIG25事件 福田内閣発足（12月）	アルゼンチンで軍事革命によりアリア・エステラン・ペロン大統領失脚（3月） 米ソ核実験制限条約調印（5月） 毛沢東中国主席死去（9月） 米大統領選挙カーター当選（11月）
	7月	法眼国際協力事業団総裁歓迎昼食会 河本通産大臣歓迎昼食会 サンパウロ商工会議所との交流会 海上自衛隊練習艦隊歓迎昼食会 岩動海外日系人協会長（参院議員）との懇談昼食会			
	8月	参議員政治経済事情視察団との懇談昼食会 社団法人日本シオス協会調査団との懇談会			
		Fundo Comunitárioへの寄付幹旋			
	9月	定款改正 生方会頭再選。会議所に部会制度を設け全員参加の体制を作る。			

1977年	3月	日系3新聞社編集長との懇談会 総領事館に対し査証、荷物等の取扱いに関する要望書提出	伯三菱重工のジュンジャイ新ボイラー工場完成 アソミナスへの日本の協力調印さる 人権問題で伯政府アメリカと衝突（4月） 離婚法成立（6月） ベネズエラ大統領ブラジル訪問経済協力で合意 カンボス沖の海底油田生産開始（8月） 公害問題続発	米国副大統領モンデイル訪日（2月） 春季公務員ストライキ（4月） 自民党参議院選挙で勝利（7月） ロッキード事件裁判始まる	米国カーター大統領就任（1月） 人権問題を強く押し出す ロンドンに於ける先進国首脳階段（5月） 米国・キューバ外交関係好転（6月） ブレジネフ・ソ連首相に就任（6月） 米国・パナマ運河の利権2000年までにパナマに返却することに合意（8月） 米国Vance国務長官中国訪問するも台
	4月	中南米経営視察団との懇談 日伯租税条約改定に伴う政府資料作成に対する協力			
	8月	新事務所へ移転（AV.Franklin Roosevelt, 126 s/709）			
	9月	Fundo Comunitárioへの寄付斡旋			
	11月	ATA工場見学			
1978年	9月	移住70周年記念事業として戦没者慰霊祭及び敬老会をフンシャール公民館において開催。同じくリオデジャネイロ州政府に絵画一幅を贈呈しその贈呈式がリオ州政府庁において挙行された	フィグレード將軍次期大統領候補となる（1月） ガイゼル大統領西独訪問（3月） 政府予算農業に重点（5月） 日本移民70周年記念式典サンパウロで 皇太子殿下夫妻を迎え挙行（6月） カマサリ石油化学コンビナート完成（7月） 政治改革案国会通過し多数党主義となる（9月） ツバロン製鉄日本融資7億ドル決定（10月） 聖市金属労組ストライキ（10月） ツバロン製鉄工事開始（1月）	成田空港開港阻止ゲリラ活動（3月） 日本世界一の長寿国となる（7月） リニアモーターカー実験世界新記録（7月） 日中和平友好条約調印（8月） 東京為替市場184円/ドルを記録（8月） 水穂作柄市場最高記録（9月） 本四架橋くわ入れ式（10月） 自民党大平総裁決まる（11月）	ソ連の原子力人工衛星カナダに墜落（1月） 中国近代化推進（3月） ワールドカップ・サッカーにアルゼンチン優勝（6月） ニカラグア内戦拡大（9月） 新ローマ法王にヨハネ・パウロ二世決定（10月） イスラエル・エジプト和平条約（10月） ガイアナで新興宗教集団自殺（11月） イラン反王制デモ（12月） ベトナム難民船沈没（12月）
		定例総会 生方会頭再選さる			
	10月	石井総領事講話「ブラジルに対する基本的考え方」			
	11月	政財界歓迎会 土光敏夫 桜田武 朝田静夫の各氏招待			
1979年	12月	講話「今回の選挙と今後の政治情勢」アジルソン・デ・バロス氏による			
	2月	講話「ブラジル経済について」Otávio Bulhões元蔵相	G. 外債300億ドルに達す（2月） フィグレード大統領政権発足（3月） 物価60日間凍結実施するも効果上がらず（4月） 特赦法国会へ提出さる（6月） 国家エネルギー委員会設立（7月） 第2回日伯閣僚会議（8月） シモンセン企画相辞任 デルフィン・ネットが新企画相に就任（8月） インフレ防止 輸出促進の一連の経済政策出る（12月） クルゼイロ貨30%下落（12月）	グラマン事件発生（1月） 元号法案通過（1月） 統一地方選挙で保守党圧勝（4月） 大平カーター会談開かれる（5月） 第5回先進国首脳会談（東京サミット）開催（6月） ソ連空母ミンスク対馬海峡通過（6月） ビデラ・アルゼンチン大統領 大平首相と会談（6月） 第2次大平内閣発足（11月）	ブノンペン没落（1月） イランのパーレビ国王亡命（1月） 中国鄧副首相訪米（1月） 中国ベトナムに軍事行動（2月） スリーマイル原発で放射洩れ事故発生（3月） 米国でDC10旅客機事故（5月） 英国サッチャー女性初の首相に就任（5月） 米国ソ連SALT II条約調印（6月） OPEC原油価格大巾引上げ（6月） 勸告朴大統領射殺さる（9月） イランでデモ隊米大使館占拠し、米人人質事件発生（11月）
	4月	吉田健三大使送別昼食会			
	5月	生方前会頭石川島播磨造船所社長就任の為辞任 森口新会頭就任			
	7月	園田外務大臣宛経済協力推進に関する要望書を石井総領事を通じて提出			
	8月	総領事館移転に際し、額縁入り地図三点を贈呈			
		江崎通産相、森山運輸相歓迎会開催 於 Cesar Park Hotel			
	9月	定期総会開催			
	10月	Feira de Previdenciaに強力 石井総領事（名誉会頭）送別会			
	11月	経団連ミッション来伯（平井富三郎団長）			
	12月	日本経済界要人5名 ブラジル政府より叙勲			

1980年	1月	入江書記長急遽（1日）	蔵相辞退　法相死亡により大臣交代する（1月） フィゲレード大統領アルゼンチン訪問（3月） フィゲレード大統領パラグアイ訪問（4月） サンパウロ州遷都案州議会で撤回される（5月） ローマ法王ブラジル訪問旅行（6月） モスクワ・オリンピックで金メダル2個獲得（7月） 日本の貿易促進使節団訪伯（7月） 新外国人法成立　リオで連続爆破事件（8月） 国勢調査　イタリア人神父追放（9月） 企画相訪日し融資取付に成功　フィゲレード大統領チリ訪問（10月）	防衛庁スパイ事件起り11人を処分（1月） 日本車のシェア米国で急増 土光経団連会長辞任（2月） 大平首相急死（5月） 自民党総裁選に鈴木氏選出される（6月） 鈴木内閣発足（7月） 日本近海でソ連原潜火災事故（8月） 鈴木首相「総合安全保障構想」打ち出す（11月） 世論調査で自民党の支持率高まる（38.1%）（12月）	ソ連のアフガニスタン進攻に自由陣営硬化す（1月） 米国イランと断交　米国人人質奪還作戦不成功となる（4月） ベネチアでサミット首脳会談行われる（6月） 主自由陣営諸国不参加の下にモスクワ・オリンピック大会開催される（7月） 元イラン・パーレビ国王エジプトで客死（7月） イラン・イラク戦争始まる（9月） 米大統領選挙でレーガン氏当選（11月） ポーランド労働問題で内紛　外圧高まり国際緊張生ずる（12月） 元ビートルズ、ジョン・レノン暗殺（12月）
		生方泰二氏（前会頭）ブラジル政府よりリオ・プランコ章受章（18日）			
	3月	谷田正躬新総領事の歓迎会開催（於　Cesar　Park Hotel）			
		土光敏夫経団連会長歓迎会開催（於　Cesar　Park Hotel）			
	6月	カラジャス視察旅行を鉄鋼鉱業建設部会主催で実施　36名参加（8日/11日）			
		リオデジャネイロ商業協会との第一回懇談会をClube Comercialにて開催　20名参加（18日）			
	7月	海上自衛隊練習艦隊歓迎会開催　於Solaris（27日）			
		来伯中の生方会頭を迎えて後付理事との懇談会開催　7名出席（30日）			
		日伯貿易交流促進ミッション（戸崎団長以下約120名）歓迎会開催　於　Cesar Park Hotel（31日）			
	8月	日伯少年野球親善使節団（団長：江藤慎一）を迎え懇談会開催　於　都食堂（6日）			
水野一教授（上智大）を迎えて講演会「日本企業の経営理念」開催　於Associação Comercial de Rio de Janeiro（18日）					
講演会「最近の労働事情」　講師：酒巻和夫を開催　於　イシプラス講堂（20日）					
9月	大分県経済貿易調査団来訪				
	ブラジル商工会議所とともに新外国人法についてAbi Ackel法務大臣に陳情書提出				
	リオデジャネイロ日本商工会議所25周年記念パーティ開催				
11月	広島県南米企業進出調査団来訪				
1981年	1月	大口信夫大使夫妻リオ公式訪問	ネルソン・ピケ、フォーミュラ I　世界チャンピオン（10月）	神戸で「ポートピア'81」博覧会開催（3月）	テヘランのアメリカ大使館人質441日ぶりに解放（1月） 米国リーガン大統領撃たれる（3月） スペースシャトル「コロンビア」号初飛行（4月） ミッテランがフランス大統領に選出される（5月） 英国チャールズ皇太子、ダイアナ王妃と結婚（7月） エジプトのサダト大統領、カイロで暗殺（11月）
	6月	山中貞則特派大使リオ訪問			
	7月	田中六助通産大臣リオ訪問			
	9月	大来佐武郎氏（対外経済関係担当日本代表、元外務大臣）訪伯			
1982年	1月	宇佐美鍊元会頭が、1981年度通産省経済協力貢献者として通産大臣表彰		五百円硬貨発行（4.1） 東北新幹線大宮・盛岡間開業（6.23） 上越新幹線大宮・新潟間開業（11.27） 中曽根康弘内閣成立（11.27）	バチカンと英国の外交関係復活（1.16） モナコ、グレース王妃自動車事故で死去（9.14） AIDS（エイズ）という呼び名、初めて使用される（9.24） ソ連・ブレジネフ元書記長死去（11.10）
	10月	浩宮さまご来訪			

1983年	1月	会議所会員三ツ矢治郎氏が、1982年度通産省経済協力貢献者として通産大臣表彰	米国レーガン大統領、ブラジル訪問（11. 29）	日本海中部地震（マグニチュード7. 7）死者104人（5. 26） 行政改革関連5法公布（12. 2）	ベイルートのアメリカ大使暗殺未遂事件、40名死亡（4. 18） ソ連、大韓航空ボーイング機撃墜（死者269人）を認める（9. 6） アメリカ、グラナダ諸島侵攻（10. 25） ポーランドのワルサ組合委員長ノーベル賞受賞（12. 10） アルゼンチンのアルフォシン大統領就任。8年間の軍政終わる（12. 20）
	4月	有田国際協力事業団総裁来伯			
	7月	経団連親善ミッション来訪			
	11月	日本ブラジル中央協会 大平定雄常務理事来訪			
		中根千枝教授が国際協力事業視察のため来訪			
1984年	7月	国際開発センター理事長 川合三郎氏来訪	南米初の試験官ベイビー、アナ・パウラ・クリチバで誕生（10. 7）	日本専売公社民営化関連4法公布（8. 10） 一万円、五千円、千円の新札発行（11. 1） 日本電信電話公社民営化関連3法公布（12. 25）	ロサンジェルス・オリンピック開催。アメリカの1980年モスクワ・オリンピック・ボイコットの報復でソ連や他の共産国家がボイコット（6. 28） 中国と英国、1997年香港返還に同意（9. 30） インド、ガンジー首相暗殺される（10. 31） 米国レーガン大統領再選（11. 6）
	8月	海上自衛隊訓練艦隊「かとり」、「なつぐも」リオ港寄港			
		北川石松外務政務次官来伯			
	9月	石川要三、野上徹代議士来伯			
	11月	自由党派遣本部進出企業調査団（団長：梶山清六代議士）来訪			
		経団連日伯経済委員会武田豊委員長来訪			
1985年	1月	会議所会員山県富士男氏が1984年度通産省経済協力貢献者として通産大臣表彰	ジョゼ・サルネイ大統領、国連で「ブラジルの貧困国民のために対外債務は支払わぬ」とモラトリアム宣言（9. 23）	東北・上越新幹線、上野始発となる（3. 14） 厚生省エイズ調査検討委員会は日本で初患者1人確認（3. 22） 日本電信電話（株）（NTT）・日本たばこ産業（株）発足（4. 1） 本州と四国を連絡する大鳴門橋開通（6. 8）	ミカエル・ゴルバチョフ、ソ連共産党の新書記長に任命（3. 11）
	3月	ブラジル大統領就任式参列のため、福田赳夫氏が特派大使として来訪			
	6月	井達邦美大使来訪			
	9月	安部晋太郎外務大臣一行来伯			
1986年	3月	上智大学水野一教授がJICA派遣で来訪	サルネイ大統領、クルザードプランを施行（2. 28） サルネイ大統領、クルザードプランⅡを施行（11. 21）	男女雇用機会均等法施行（4. 1） 天皇在位60年記念式典挙行（4. 29） 国鉄分割民営化関連8法案可決（1987年4月JR 各社スタート）（10. 28）	スペースシャトル「チャレンジャー」号。打ち上げ直後に爆発し、乗組員7名全員死亡（1. 28） イスラエル、ペレス大統領、パレスチナ国家を認知（4. 8） ソ連チェルノブイリ原子力発電所で大事故（4. 26） アメリカがイランに武器不法輸出。ま、ニカラグア反政府派に武器供給（11. 6） マイク・タイソン、世界チャンピオンに（11. 22）
	4月	リオにて歌舞伎初公演			
	7月	小村康一大使来訪			
	9月	常陸宮殿下ご来訪			
1987年	1月	会議所会員稲田耕一氏が、1986年度通産省経済協力貢献者として通産大臣表彰	サルネイ大統領、プレッセル・プランを発表（6. 12）	東北自動車道川口・青森間が全通（7. 30） 利根川進、ノーベル賞医学・整理賞受賞（10. 12） アメリカ・ニューヨーク株式市場大暴落（ブラックマンデー）。翌日の東京株式市場も過去最大の値下げ幅（10. 19） 竹下登内閣発足（11. 6）	ドイツ青年が操縦するセスナがモスクワの赤の広場に着陸（5. 28） イラン・コントラ問題でレーガン大統領無罪（8. 3） ドイツと中国の間で初めてのEメール通信（9. 28）
	4月	会議所榎葉隆一副会頭（東京銀行）が勲四等瑞宝章を叙勲			
	10月	会議所斉藤勇副会頭が海外経済協力貢献者として通産大臣表彰			

1988年	1月	リオ州大降雨。海岸山脈部に甚大な被害	憲法制定議会サルネイ大統領の5年任期を承認（6. 2） 新ブラジル憲法発布（10. 5）	青函トンネル開通（世界最長）（3. 13） 東京ドーム「BIGEGG」オープン（わが国初の屋根付き球場）（3. 16） 常磐自動車道三郷・いわき中央間全線開通（3. 24） 本州四国連絡橋児島・坂出ルート、瀬戸大橋開通（世界最長の道路・鉄道併用橋）（4. 10） 北陸自動車米原・新潟黒崎間全線開通（7. 20） 参議院本会議にて消費税導入を柱とする税制改革関連6法案可決（12. 30公布）	ソ連軍の一部アフガニスタン撤退（1. 11） ノリエガ將軍パナマで革命起こす（2. 26） アメリカの巡行艦ビンセンス、2発のミサイルで290人乗りイラン航空機を撃墜（7. 3） イラン・イラク戦争終結。ソウル・オリンピック開催（7. 18） ジョージ・ブッシュがアメリカ大統領に選出（11. 8） PLOが国家パレスチナを宣言（11. 12） パン・アメリカン航空ボーイング747機が機内に仕掛けられた爆弾で爆破、スコットランドに墜落。死者269名（12. 21）
	3月	リオ州水害救済のため、日本政府が医薬品、救援金提供			
	6月	会議祖名誉会員高橋定太郎氏が日本移民80年に際して外務大臣表彰			
	7月	会議所会員出羽孝史氏（日本航空）は、航空事業への功績によりブラジル航空大臣賞としてサントスドゥモン賞受賞			
	9月	山本勝律副会頭（イシプラス）が海外経済協力貢献者として通産大臣表彰			
	11月	財団法人海外法人医療基金派遣調査団として労働福祉事業団谷口隆志理事長一行来訪			
1989年	1月	日本棋院石井邦生九段、大枝雄介八段一行が国際交流基金派遣で来伯	サルネイ大統領、「夏のプラン」施行（1. 15）	天皇陛下崩御、明仁殿下ご即位（1. 7） 「平成」と改元（1. 8） 大喪の礼（新宿御苑）（2. 24） 消費税3%スタート（6. 2） 海部俊樹内閣発足（8. 9）	中国の学生集団が自由と民主化を求める天安門事件起きる（6. 4） ベルリンの壁崩壊（11. 9） チェコ政府崩壊（11. 24） アメリカがパナマに侵攻し、ノリエガ大統領を拘束（12. 20） ルーマニアのチャウシェスク大統領とエレナ夫人が銃殺刑に処せられる（12. 25）
	2月	日本政府のブラジル・メキシコ投資環境調査団来伯			
	5月	賀陽治憲大使リオ来訪			
	9月	海上自衛隊訓練艦隊「かとり」、「さわゆき」、「あさゆき」リオ港寄港			
1990年	8月	歌舞伎舞踊公演開始	フェルナンド・コロール・デ・メロ、大統領に就任（3. 15） 新政府、銀行預金及び5万クルゼイロ以上の投資を18ヶ月間凍結（3. 16） 議会、コロール・プラン承認（4. 11） ブラジル、イタリア開催のサッカー・ワールドカップで予選敗退（6. 24）	礼宮・紀子さまご成婚（6. 29） 天皇陛下、即位の礼（11. 12） ソ連のソユーズM11号に秋山豊寛さんが同乗（日本人初の宇宙飛行）（12. 2）	南アフリカの黒人運動リーダー、ネルソン・マンデラ、27年の投獄から釈放される（2. 11） マイク・タイソン、ノックアウト負けし、11回防衛した世界チャンピオンの座を明渡す（2. 11） ボリス・エリチンがロシア大統領に選出される（5. 29） アルベルト・フジモリがペルー大統領に選出される（6. 10） イラク、クウェートに侵攻（8. 22） 東西ドイツ併合。分断後41年（10. 3） ワルサ委員長、ポーランド大統領に選出される（12. 9）
	9月	リオ総領事館主催、リオ州政府、リオ工業連盟、JETRO、日本商工会議所などの協力で日本文化祭開催			
	10月	平成2年度経済協力貢献者として、日本商工会議所より推薦の秋月英美氏（ツバロン製鉄）が通産大臣表彰			
	11月	山本会頭、リオ・プランコ国家勲章を受章			
1991年	2月	ゼリア経済相との懇談会	政府、コロール・プラン2を施行（1. 31） 消費者保護法施行される（3. 11）	新宿に新東京都庁開庁（4. 1） 長崎・雲仙普賢岳で大規模な火砕流発生（死者40人、行方不明3人）（3. 3） 宮沢喜一内閣発足（11. 5）	アメリカ同盟国軍、イラクと戦争状態に入る（1. 16） サダム・フセイン大統領、クウェート侵攻部隊に撤退命令（2. 25） インド、ラディブ・ガンジー首相暗殺（5. 21） ベルリン、統一ドイツの首府に戻る（6. 20） バルセロナ・オリンピック開催（6. 25）
	3月	J. マイア経済相次官との懇談会開催			
	9月	日本人学校20周年記念式典開催			

1992年	10月	徳島商工会議所青年部来訪	臨時調査委員会の報告書はコロール大統領は有罪（8. 24） 連邦議会でコロール大統領の追放決定（9. 29） コロール大統領、追放によりイタマル・フランコが大統領に就任（12. 29） 上院はコロール前大統領の向こう8年間の政治活動禁止を下す（12. 30）	山形新幹線開通、東海道新幹線「のぞみ」誕生（3. 14） 学校の週休二日制始まる（4. 1） 尾崎豊死去（4. 25） 国連平和維持活動（PKO）法案成立（6. 15） 毛利衛さんがスペースシャトルで宇宙へ（9. 12）	クロアチアとボスニアがセルビアの攻撃に国際介入を要請（6. 9） ビル・クリントン、米大統領に選ばれる（11. 3）
1993年	5月	カルドーゾ外相とブラジル日本商工会議所が会談	連邦高等裁判所、コロール元大統領の追放を決定（12. 16）	北海道釧路沖地震（1. 15） 皇太子殿下ご結婚（6. 9） 北海道南西沖地震（7. 12） 自民党が衆院選大敗（55年体制崩壊）（7. 18） 細川連立内閣発足（8. 9）	ニューヨーク、ワールド・トレード・センター地下駐車場で爆弾テロ。5名死亡（2. 26） 南アフリカ、人種差別を認めない憲法制定（12. 22）
	9月	海上自衛隊練習艦隊リオ入港			
1994年	5月	商工会議所事務局がRua Uruguaiana, 10 sala 1006へ移転	アイルトン・セナ、事故で死亡（5. 1）	政治改革法成立（小選挙区、比例代表制）（1月） 名古屋空港で中華航空機着陸失敗（4. 26） 羽田牧内閣発足（4. 29） 松本サリン事件（6. 27） 村山富市内閣発足（6. 30） 関西国際空港開港（9. 2） 北海道東方沖地震（10. 4） 大江健三郎がノーベル賞受賞（10月） 新進党結成（12. 10）	イギリスとフランスを結ぶユーロトンネル開通（5. 6） ネルソン・マンデラ、南アフリカ大統領に就任（5. 10）
	7月	日本ブラジル修好100周年記念事業を目的としてリオデジャネイロ実行委員会発足			
1995年	2月	神戸市宛に阪神大震災の義捐金拠出	フェルナンド・エンリッケ・カルドーゾ大統領就任（1. 1）	阪神大震災（1. 17） オウム真理教事件（地下鉄サリン事件）（3. 20） ロッキード事件判決（2月） 統一地方選で東京・大阪無党派旋風、タレント議員誕生（4. 9） 野茂、米大リーグで新人王（11. 9）	アメリカ、ベトナムと国交再開（7. 11）
	8月	日本人学校生徒数減少に伴い、進出企業会員による同行運営費拠出金制度設定 井上龍之助氏（日伯紙パルプ資源開発株式会社ブラジル代表兼伊藤忠ブラジル副社長・リオ支店長）ほか2名が平成7年度産省経済協力貢献者として通産大臣表彰			
	11月	リオデジャネイロ植物園にて日伯修好100周年を記念する日本庭園開園式。清子内親王殿下ご臨席。内親王殿下はリオデジャネイロ私立劇場での日伯修好100周年記念事業組織委員会によるオペラ「夕鶴」をご観劇			
	12月	日伯修好100周年記念外務大臣表彰授与			
1996年	3月	日本語モデル校落成式	エルネスト・ガイゼル元大統領死去（9. 12）	橋本龍太郎内閣発足（1. 11） スペースシャトル・エンデバーに岩田さん搭乗（1. 11） 社会党が社会民主党に改名（1. 19） オウム真理教松本被告公判開始（4. 24） 民主党結成（9. 28）	アトランタ・オリンピック開催（7. 19） ビル・クリントン、アメリカ大統領に再選される（11. 5） 天皇誕生日祝賀中のペルーの日本大使館がMRTA（ツマック・アマル革命運動）に選挙され、400人余りが人質（12. 7）
	4月	在アメリカ商工会議所創立80周年記念昼食会開催、大隈会頭列席			
	5月	カンジドメンデス大学にて同大学付属団体（交際協力センター）主催のセミナー「文化とビジネスチャンス」日本語部開催。当商工会議所より講師派遣			
	9月	リオ日本人学校において開校25周年記念文化祭開催			
	11月	加藤秀男氏が勲六等単光旭日章受章			
		海外法人医療基金の調査チーム3名がリオを訪問し、当地の医療水準を調査			

1997年	4月	平成9年度経済協力貢献者表彰候補として安見清氏を推薦	グスタボ・クエンテンが全仏オープンテニスで優勝。ブラジル人で初（6.8）クリントン米国大統領がブラジル公式訪問（10.13）	ロシアタンカー“ナホトカ”沈没で重油大量流出、日本海沿岸を汚染（1.2） 東海村核燃料再処理工場（動燃）で爆発事故（3.11） 秋田新幹線開業（3.22） 消費税5%スタート（4.1） 長野新幹線開業（10.1） 北海道拓殖銀行業務停止、山一証券自主廃業など、大手企業の倒産相次ぐ（11月） 土井さんの宇宙遊泳成功（11.24） 新進党、解散分裂へ（12.25） PHSが高速データ通信サービス開始 ポケモン、たまごっちが大流行	ゲリラに占領されたペルー日本大使館をペルー軍が侵攻、ゲリラ4名全員射殺し、人質解放（4.22） 香港、中国に返還される（7.1） ダイアナ王妃、パリで自動車事故で死亡（8.31）
	6月	天皇・皇后両殿下リオ訪問。皇太子時代の2回（1967年、1978年）に次ぐ3回目の両殿下のご来伯。天皇陛下としては皇室史上初めて			
	8月	通産省調査団との意見交換会開催。調査団として柴田治呂大臣官房審議官外5名来伯			
		リオ州議会が大限会頭にリオ州公民褒章授与			
	10月	当商工会議所推薦の安見理事（アタ燃料機）が平成9年度経済協力貢献者表彰			
	12月	日伯文化体育連盟、日系協会、日伯文化協会共催及び総領事館、日本商工会議所後援により、リオ州日本移民90年祭委員発会式举行			
1998年	6月	リオ州議会議事堂にてリオ州日本移民90周年記念式典開催		新進解党で野党再編（1月） 長野冬季オリンピック開催（2.7） 明石海峡大橋開通（4.5） 仏で開催されたワールドカップに日本初出場（6.10） 和歌山毒入りカレー事件（7.25） 小渕恵三内閣発足（7.30） 北朝鮮ミサイルが三陸沖に着弾（8.31） 黒沢明監督死去（9.6） 中銀、日債権一時国有化（10.23）	ローマ法王ジョン・パウロ2世キューバ訪問（1.21） インドネシア、スハルト大統領辞任（5.20） 米クリントン大統領のモニカ・ルーインスキー事件（9.11） チリのピノチェット、ロンドンでテロ、拷問、集団殺害で高速される（10.16）
		海上自衛隊練習艦隊「さわぎり」リオ港寄港			
	8月	総領事館、リオ州日本移民90年祭委員会共催「喜多川教授を囲む会」開催。中島総領事、鷺巣理事出席			
	11月	NTTから当商工会議所にパソコン及び周辺機器が寄贈。赤池NTT・ド・ブラジル代表取締役社長が出席して引き渡し式			
		日本ブラジル修好100周年記念事業管理委員会主催 日本庭園開園3周年の集い開催 栗田武美（勲六等単光旭日章）、市村輝夫（勲六等瑞宝章）受勲			
1999年	3月	商工会議所事務局、Rua Senador Dantas, 80-sala1401, Centroに移転	カルドーズ大統領就任（1.1）	都知事に石原慎太郎氏就任（4.11） 自自公連立内閣発足（10.5）	チェチェン、ロシアの攻撃を受けて宣戦布告（10.5） ヨーロッパのアジア最後の植民地マカオが中国に返還される（12.19） ロシアのボリス・エリツィン大統領が辞任（12.31）
	4月	商工会議所主催でフォルクスワーゲン工場およびペトロブラス製油所見学会			
	5月	鈴木大使、リオ公式訪問			
2000年	5月	堀村中南米局長との交歓夕食会開催		日本で初めての7ヶ国蔵相・中央銀行総裁会議（G7）開催（1.22） 400年に一度のうるう年（2.29） 地下鉄日比谷線、中目黒駅で脱線・衝突事故（3.8） 有珠山が23年ぶりに噴火（3.31） 森喜朗内閣発足（4.5） 介護保険制度スタート（4.1） 小渕恵三前総理、死去（5.14） 三宅島噴火（6.26） 「そごう」経営破綻（7.12） 二千円札、新五百円硬貨を発行（7.19） 沖縄サミット開催（7.21） 白川英樹、ノーベル化学賞受賞（10月） シドニー五輪で高橋尚子が日本女子陸上初の金メダル（11.30）	ロシア、プーチン大統領就任（4.5）
	8月	武藤元外相との親睦夕食懇談会開催			
	9月	郵政省ミッションとの夕食懇談会開催			
	5月	エンブラエル飛行機製作所見学	ブラジルとカナダの間で通商戦争（2.2）	「えひめ丸」がハワイ沖で米原子力潜水艦と衝突し沈没（2.9） 小泉純一郎内閣発足（4.26） ハンセン病国賠訴訟で患者側勝訴（	ニューヨーク、ワールド・トレード・センターにボーイング767機2機が突っ込む無差別テロ（9.11）

2001年	9月	日本人学校創立30周年記念式典および祝賀会		5. 11) 野依良治がノーベル化学賞受賞（10月） 内親王ご誕生、敬宮愛子さまと命名（12. 1） いちろー、米リーグで新人賞とMVPを獲得	
	11月	Rio Grande do Sul州ワイナリー視察旅行			
2002年	6月	Ambevビール工場見学会	ルーラが大統領に選出される（10. 27）	UFJ銀行、ミズホ銀行、三井住友ファイナンシャルグループ誕生 第17回ワールドカップ日本・韓国合同開催。日本は決勝リーグへ進出。ブラジルが最多5度目の優勝（5. 3 1） 住民基本ネット台帳ネットワーク通商「住基ネット」スタート（8. 5） 東京電力で複数の原発トラブル隠し発覚。中部電力、東北電力でも原発のひび割れ報告せず。 ノーベル物理学賞に子柴昌俊さん（東大名誉教授）、素粒子ニュートリノを観測（10月） ノーベル化学賞に田中耕一さん（島津製作所エンジニア）、たんばく質測定に新手法（10月） 北朝鮮拉致生存者5人が一時帰国、家族と再会（10. 15） 東北新幹線盛岡・八戸間開業。新車両「はやて」八戸～東京を3時間弱で結ぶ（12. 1）	チェチェン独立を叫ぶテロリストがモスクワの劇場に観客を人質に立てこもる。ロシヤ軍の強行作戦でテロリスト50人、人質117人死亡。プーチン大統領、国民に謝罪（10月）
	9月	名古屋商工会議所南米交流経済使節団来訪			
	10月	東山農場見学会			
2003年	3月	セラード視察旅行	ルーラ大統領就任（1. 1） ミナスジェライス州の製紙会社が大規模環境汚染。リオ州、エスピリトサントス州の40都市に影響（3. 29） 帰化中国人実業家チャン・キムがリオ国際空港で約3万ドル不正持ち込みで逮捕、拷問の末、殺される（9. 4） ルーラ大統領が国連第58回総会に出席、経済協力と安全保障を訴える（9. 23）	北朝鮮、日本海に向けて地对艦ミサイル「シルクワーム」を試射（2. 25） 日本郵政公社発足（3. 18） りそな、実質国有化へ（5. 17） 宮城県北部を震源に震度6の地震（7. 26） 阪神、18年ぶりリーグ優勝（9. 15） 小泉第2次内閣発足（9. 22） 十勝沖地震（9. 26） 民主党が旧自由党との合併（9月） 保守新党が解党、自民に合流（11月） 航空自衛隊のイラク先遣隊、第一陣クウェートに向け出発12. 26)	スペースシャトル・コロンビア号、地球着陸数分前に爆発、乗組員7名全員死亡（2. 1） カルフォルニア州知事にアーノルド・シュワツネッガーが選出される（10. 8） イラク、サダム・フセイン大統領逮捕（12. 14）
	11月	Ambev飲料工場見学会			

2004年	4月	堀村降彦大使リオ公式訪問	連邦政府はアメリカ人のブラジル入国に際して写真撮影と指紋採取を義務付け。アメリカに対する報復処置（1. 1）不法政治資金スキャンダル発覚。連邦警察は全国のビンゴとスロットマシンを禁止（2. 20） 検察当局はルーラ大統領はアルコール飲料常習者と書いたニューヨーク・タイムズ記者ラリー・ロザーを逮捕。外交交渉の末、保釈（5. 8）	平壤で小泉首相が金正日総書記と会談、拉致家族の被害者5人が帰国（5. 22） 道路公団民営化法が成立、2005年秋に民営化（6. 2） 浅間山噴火（0. 1） 日本プロ野球選手会が初めてストライキ（9. 17） 国連総会が安全保障理事会の非常任理事国改選、日本が非常任理事国に（10. 15） 新潟で震度6強、3回（10. 23） 1万円、5千円、千円の新紙幣流通開始（11. 1） 楽天が来季パリーグへの新規参入（11. 2） 羽田空港第2旅客ターミナル開業（12. 1）	スペイン、マドリッドで電車テロ（3. 11） ロシア、ベスランの小学校にテロ集団侵入、死者多数（9. 3） アメリカ、ブッシュ大統領再選される（11. 2） パレスチナ・アラファット議長死亡（11. 11） インドネシアの大地震による津波がインド洋周辺諸国を直撃、死者10万人以上（12. 26）
		移民100周年実行委員会への参加を決定			
	7月	海上自衛隊練習艦隊「はまぎり」、「うみぎり」がリオ港寄港			
	8月	セペチバ港およびイタグアイ日系農場視察			
	9月	さくら基金よりリオデジャネイロ連邦大学にコンピュータ12台寄贈			
2005年	4月	宇宙飛行士毛利衛さん訪伯。会議所主催講演会開催	与党P T党の賄賂作戦（メンサロン事件）が明るみに、ルーラ大統領苦境（5月） 10万ドルを不法持ち出ししようとしたP T党ジョゼ・ノブレ・ギマランズ州議院秘書がサンパウロ空港で逮捕（7月） フォルタレザの中央銀行本店で1億5千万レアルが強奪。ブラジル最大の銀行強盗事件（8. 8）	愛知県で愛・地球博開催（3. 25）	パレスチナの新首相マホメド・アバスを選ばれる（1. 11） ローマ法王ジョン・パウロ2世死去（3. 2） 新ローマ法王にベント16世就任（4. 19） ロンドンで地下鉄、バス同時発生テロ（7. 7）
	6月	当会議所等、日系4団体後援による日本週間開催			
	8月	ベトロポリス、ボイラー工場見学			
	9月	商工会議所50周年記念式典開催			
2006年	8月	CSN Volta Redonda製鉄所視察旅行	GOL航空ボウイング737が小ジェット機と空中衝突し、マツトグロッソ州北部に墜落。154人死亡（9. 29）	小泉潤一郎が総理を退任。後任に安倍晋三（9. 26）	ドイツ、第18回FIFAワールドカップ開催。イタリア優勝（6月、7月） 北朝鮮がテポドン2号の発射実験（7. 5）
	9月	日本人学校35周年記念文化祭開催			
	10月	福川総領事ご夫妻歓迎会開催			
2007年	6月	「ブラジル日本移民100周年祭・日伯交流年実行委員会」の発足式開催　於：リオデジャネイロ州政府庁舎	TAM航空機がサンパウロ、コンゴニヤ空港で着陸失敗し、爆発。199人死亡（7. 17）	安倍晋三首相が辞任、福田康夫内閣発足（9. 12） 日本郵政公社が解散。郵便事業株式会社ほかが発足（10. 1）	
	8月	SCHINCARIOLビール工場およびファンシヤル日系農場見学会			
	9月	世界柔道選手権大会出場選手慰労会開催　於：リオ日系協会			
		島内全権大使昼食歓迎会開催			
2008年	2月	日伯交流年・ブラジル日本移民100周年記念行事公式開始式開催　於：Palácio da Cidade		福田康夫首相が辞任、麻生太郎内閣発足（9. 24） 南部陽一郎、益川敏英、小林誠が史上初となるノーベル物理学賞3人受賞、下村脩がノーベル化学賞受賞（10月）	チベット暴動が起こる（3. 10） 北京オリンピック開催（8月） バラク・オバマが黒人初のアメリカ合衆国大統領となる（11. 4）
		海上自衛隊練習艦隊歓迎会開催			
	6月	日伯音楽交流会、皇太子殿下ご臨席　於：リオデジャネイロ市立劇場			
		皇太子殿下記念植樹　於：リオ植物園内日本庭園			
		Petrobras Termo Rio発電所見学会			
		沖縄県商工商会ミッション、リオ州工業連盟、ペトロプラスと昼食会			
		沖縄県観光商工部企業立地推進課金城班長来訪			
	8月	福岡貿易会南米視察団と昼食懇談会			
		早稲田大学グリークラブによりブラジル日本人移民100周年・日伯交流年記念公演　於：リオ州州立大学講堂			

2009年	8月	Nova Friburgoチーズ工場および松岡農場見学会		麻生内閣が総辞職し、民主・社民・国民の三党による鳩山由紀夫内閣が成立。15年ぶりの非自民政権（9.16）	バラク・オバマ、第44代アメリカ合衆国大統領に就任（1.20） 歌手のマイケル・ジャクソンさんが死去（6.25）
	9月	荒川総領事歓迎昼食会開催			
		日伯環境セミナー開催 於：BNDES講堂			
2010年	8月	Nova Friburgoチーズ工場および松岡農場見学会	労働党のジウマ・ルセフ女性候補が大統領選挙で勝利	菅内閣が発足（6.10） 根岸英一・鈴木章がノーベル化学賞を受賞（10月）	ハイチ地震発生（1.12） 第21回冬季オリンピック（バンクーバー）開催（2月） 上海で万博開催（5月～10月） FIFAワールドカップ南アフリカ大会開催
		島内大使お別れ昼食会 於：リオ日系協会			
	10月	日伯環境セミナー開催 於：BNDES講堂			
2011年	5月	「東日本大震災義援」のためのショー「Rio to Japan」開催 於：Banden Powell市立劇場	ジウマ・ルセフがブラジル史上初の女性大統領に就任（1.1） バラク・オバマ米大統領初めてブラジル訪問	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）が発生。地震と津波により福島第一原子力発電所事故が発生（3.11） 大相撲八百長問題が発覚し、3月場所が開催中止となる 菅首相が退陣。野田内閣が発足した（9.2） 地上アナログテレビ放送が停波し、地デジタルへ完全移行（7.24）	30年間続いたエジプトのムバラク政権が崩壊（アラブの春）（2.11） リビア内戦が発生し、40年以上続いたカダフィ政権が崩壊。カダフィは死去（アラブの春）（10.20） テロリスト、オサマ・ビン・ラ덴死亡（5.1） 北朝鮮最高指導者である金正日が死去。継続は三男の金正恩（12.19）
	8月	Nova Friburgoチーズ工場および松岡農場見学会			
	9月	日伯環境セミナー開催 於：BNDES講堂			
2012年	4月	外務省国際協力局杉中課長と懇談昼食会開催	連邦最高裁（S T F）において、メンサロン公判は連邦議員による収賄や資金洗浄等の審理を終え、メンサロン事件の核心であるP T 幹部による連邦議員の贈賄ジルセウ元文官長及びジェノイノ元P T 党首らの有罪が確定し、被告3 7 名の内、2 5 名の有罪が確定（8月）	東京スカイツリー開業（5.22） 自民党総裁・安倍晋三が総理大臣に再就任（9月） 山中伸弥がiPS細胞でノーベル生理学・医学賞を受賞（10月）	ロンドンオリンピック（第30回夏季オリンピック）開催（7月/8月） 欧州債務危機によりユーロが急落。1ユーロ=95円58銭を記録 欧州原子核研究機構がヒッグス粒子を発見する（確定は翌年）
		駐伯三輪大使リオ公式訪問 歓迎昼食会開催			
	6月	「リオ+20」サイドイベント会場内の「日本パビリオン」において、外務省主催の「日本のタベ」開催			
	8月	ノーバフリブルゴ松岡農場への親睦旅行会			
	10月	日産自動車レゼンジ工場建設現場視察			
		日伯環境セミナー開催 於：BNDES講堂			
2013年	2月	渡邊総領事と4団体お別れ昼食会開催		東証と大証が合併。株式会社日本取引所グループ発足 『和食 日本人の伝統的な食文化』が無形文化遺産に登録される	ソフトバンクがアメリカ携帯大手のスプリントを買収 ロシアのチェリャビンスク州に隕石が落下
	4月	リオ総領事館主催の秋葉厚生労働副大臣との夕食会開催			
	5月	「しんかい6500」来訪歓迎式、歓迎夕食会開催			
	6月	本間 晃（元オズワルド・クルス財団総裁）への旭日中綬章勲章伝達式開催			
		ノーバフリブルゴ松岡農場への親睦旅行会			
	11月	商工会議所事務局Rua Senador Danta, 118, sala 517, Centroに移転			
2014年	4月	財務省大臣官房 武内直樹審査官との懇談昼食会	FIFAワールドカップブラジル大会開催された 大統領選でブラジル社会民主党候補との決戦投票で僅差で再選	ノーベル物理学賞受賞者に赤崎勇・天野浩・中村修二の3人が決定 みんなの党が解党決定	ソチオリンピック（第22回冬季オリンピック）開催 イスラム過激派組織ISがイスラム国家の樹立を一方的に宣言。米軍が空爆開始
		日産自動車レゼンジ工場の開所式開催			
		日本小売業界視察団10名来訪			
	5月	梅田大使歓迎夕食会開催			
	8月	日産自動車工場見学会			

2015年	11月	日伯外交関係樹立120周年を記念して秋篠宮同妃両殿下リオデジャネイロ公式訪問 「リオデジャネイロ植物園日本庭園改修事業」竣工式、リオ州知事主催昼食会、実行委員会主催歓迎会にご出席	ブラジル石油公団（ペトロプラス）を“ダシ”に、大手ゼネコンが談合で捻出した資金を海外の秘密口座を経由して洗浄し与党連合の政治家に選挙資金、賄略として流した構図のラバジャット事件が明るみになった ミナスジェライス州ベント・ロドリゲスダム（鉱滓ダム）決壊事故発生。死者17人、行方不明者2人、負傷者16人（11月5日）。	イスラム過激派ISILによる日本人拘束事件により2名が犠牲となる ノーベル生理学・医学賞に大村智、ノーベル物理学賞に梶田隆章が選出される	Microsoft Windows 10の無料アップグレード提供開始
2016年	6月	日本パラリンピック委員会事務局長中森邦男氏、日本パラリンピアンズ協会根木慎志氏より「パラリンピックスポーツ応援プロジェクト」の講演	第31回夏季オリンピック（リオデジャネイロ市）開催（8月）	熊本地震発生。震度7を2回観測。死者267人、避難者数は183,882人にのぼった（4.14） 民主党と維新の党などが合流して民進党が発足（3.27） オートファジーの仕組みの解明で、大隅良典がノーベル生理学・医学賞受賞（10.3） 北海道新幹線が開業（3.26）	バラク・オバマ大統領の広島訪問 イギリスの国民投票でEU離脱派が勝利 アメリカ大統領選でドナルド・トランプが勝利
		オリンピック日本選手歓迎・慰労レセプション開催	第15回夏季パラリンピック（リオデジャネイロ）開催（9月） ジウマ・ルセフ大統領が弾劾裁判により罷免され、ミシェル・テメル副大統領が大統領に就任		
	8月	神奈川県黒岩知事歓迎夕食会開催			
		安部総理大臣との交流会開催			
2017年	3月	福岡県国際交流センターからの県人会担い手育成青年派遣団来訪		エアバッグの欠陥問題でタカタが経営破たん。負債は1兆円を超える見通し	韓国で朴槿恵が大統領職を罷免され、文在寅が大統領に就任 シリア民主軍、ISILが首都とするラッカの解放を宣言 スペイン、カタルーニャ州が独立宣言 エジプトのシナイ半島のモスクでテロ事件発生。数百人の死傷者（11.24）
		山元総領事の送別会開催			
		佐藤大使歓迎会開催			
	4月	星野総領事夫妻歓迎昼食会開催			
	6月	中南米地区日本人学校長研究協議会開催			
	7月	移民110周年記念事業実行委員会発足			
2018年	3月	Angra dos Reis造船所岸壁に接岸中の三井海洋開発社FPSO（海底油田向け浮体式生産貯蔵積出設備）見学会	ブラジルの元大統領（ルイス・イナシオ・ルラ・ダシルバ氏）が収賄と資金洗浄の罪で禁錮12年1カ月の判決を受け、収監された（4月）。 リオ国立博物館の火災。帝政時代からの建物や先史時代からの貴重な資料喪失（9.2）。 大統領決選投票で、ジャイル・ボルソナロ候補が当選（得票率は55.13%）（10.28）。	国際宇宙ステーションに5カ月半滞在した宇宙飛行士の金井宣茂さん、カザフスタンの草原地帯に帰還した（6.3） 18歳成人改正民法成立（6.13） 西日本豪雨、死者220人以上（7.5） 日産・ゴーン会長を逮捕（11.19）	中米グアテマラ南部フエゴ火山噴火。死者は100人超（6.3） インドネシア中部・スラウェシ島でマグニチュード7.5の地震が発生。その後10メートルを超える津波。犠牲者は1948人（9.28）
	7月	眞子内親王殿下、移民110周年記念にご来伯されリオ植物園日本庭園内で植樹			
		眞子内親王殿下歓迎昼食会開催 於：リオ日系協会			
	8月	リオ州工業連盟（Firjan）、総領事館、商工会議所の三者会合			
2019年	6月	日本商工会議所ミッション団が来伯。懇談昼食会にて情報交換	ジャイル・ボルソナロ、第38代連邦共和国大統領に就任（1.1）。 ミナスジェライス州でブルマデーニョ鉱山ダムが決壊し、251人死亡、19名行方不明（1.25）。	探査機「はやぶさ2」の小惑星「リュウグウ」着陸成功（2.22） 皇太子さまが新天皇に即位し、令和に改元（5.1） 日産自動車の前会長カルロス・ゴーン被告がレバノン逃亡（12.31）	エチオピア航空のボーイング737MAXが墜落－157人全員死亡（3.10）。 ノートルダム大聖堂の火災（4.15） モスクワの空港で旅客機炎上、41人死亡（5.5） ボリビアのエヴォ・モライス大統領辞任（11.10）
	11月	商工会議所事務所移転（Av. Franklin Roosevelt, 39, sala 919）			

2020年		<p>1月、2月の恒例昼食会・講話、3月の定期総会を最後に新型コロナの感染拡大の為、全てのイベントを中止。</p> <p>但し、定例理事会はビデオ会議にて実施。</p>	<p>新型コロナ感染拡大により、保健上の異常事態宣言を公布し、外国人の入国を制限（2. 4）。</p> <p>2月26日ブラジルで初めてコロナ感染が確認された。その後、各州、各都市の状況に応じた社会的隔離措置、自宅隔離措置が勧告された。</p> <p>2020年12月31日迄の累積感染者は7,675,973人、累積死亡者は194,949人。</p>	<p>集団感染のダイヤモンド・プリンセスクルーズ船、横浜港に着岸（2. 4）。</p> <p>新型コロナの感染拡大の為、東京五輪・パラリンピックは2021年7月に延期。</p> <p>新型コロナ感染拡大の為、緊急事態宣言発令（4. 6）。</p> <p>九州豪雨により77人死亡、2名行方不明（7. 4）。</p> <p>安倍首相、持病悪化を理由に辞任表明（8. 28）。</p> <p>菅首相誕生、新内閣が発足（9. 16）。</p>	<p>英国は欧州連合（EU）から離脱（1. 31）。</p> <p>世界保健機関（WHO）、新型コロナウイルスのパンデミック表明（3. 11）。</p> <p>パキスタンで旅客機墜落、乗員乗客のうち97人死亡（5. 22）。</p> <p>米国で警官に拘束された黒人男性が死亡、「ブラック・ライブズ・マター」抗議デモが世界に広がった（5. 25）。</p> <p>レバノンの首都ベイルートの港で大規模爆発。少なくとも190人が死亡（8. 4）。</p> <p>米大統領選、バイデン氏が当選確実（11. 7）。</p>
2021年		<p>2020年4月以降新型コロナの感染拡大の為2021年の全てのイベントを中止。</p> <p>但し、以下のイベントはオンラインにて実施。</p> <p>第1回定例理事会（1. 15）</p> <p>第1回臨時理事会（定期総会準備）（3. 5）</p> <p>定期総会（3. 12）</p> <p>第2回定例理事会（6. 10）</p> <p>第1回臨時総会（6. 11）</p> <p>第3回定例理事会（9. 10）</p> <p>安全対策セミナー（11. 18）</p>	<p>ルーラ元大統領に対する刑事訴訟に関し、第13連邦裁判所に裁判管轄権がないことが認められ、同裁判所のルーラ元大統領の有罪判決が取り消された。その為、同氏の大統領選挙に立候補できることとなった（4. 14～15）。</p> <p>4月27日、上院にて新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会が設置された（4. 27）。</p> <p>CPIの最終報告書が承認され、9件の罪状によりボルソナロー大統領の起訴を勧告。その他77名（下院議員、実業家、記者、閣僚及び元閣僚に加え民間企業2社が起訴請求の対象となった。</p> <p>2021年12月末迄のコロナ累積感染者は22,293,228人、累積死亡者は619,171人。</p>	<p>新型コロナ禍の中、2020年から延期された第32回東京五輪・パラリンピックが2021年7月～8月に開催。</p> <p>熱海市、大雨の影響で大規模な土石流発生（7. 3）。</p> <p>岸田文雄氏が菅首相の後継として第27代総裁に選出された（9. 29）。</p> <p>2021年12月末迄のコロナ累積感染者は1,734,292人、累積死亡者は18,393人。</p>	<p>敗北を拒むトランプ大統領支持者らが連邦議会議事堂に乱入し、4名は死亡（1. 6）。</p> <p>バイデン氏が大統領に就任（1. 20）。</p> <p>ミャンマーでクーデターが起り国軍が全権掌握（2. 1）。</p> <p>国軍によるクーデター後、弾圧死者500人超す（3. 30）。</p> <p>米軍、アフガニスタンから完全撤廃（8. 30）。</p> <p>欧州西部（主にドイツ、ベルギー）を襲った豪雨により死者、200人超（7. 20）。</p> <p>世界保健機構は南アフリカで確認されたオミクロン変異株を最も警戒レベルが高い「懸念される変異株」に指定（11. 26）。</p> <p>フィリピン台風22号、死者400人超、避難生活50万人（12. 20）。</p> <p>世界のコロナ累計感染者2億9063万人、死者546万人（12月末）。</p>

2022年	新型コロナウイルス感染防止の為、2020年3月を最後に定例昼食会・講話は全て中止されていたが、コロナ感染状況の改善が見られたため、2022年6月から昼食会が再開催されたが、一時7月にコロナ感染状況が悪化したため、7月は中止となったが9月より再開。 第1回定例理事会（オンライン）（1. 14） 第1回臨時理事会（定期・臨時総会準備）（オンライン）（3, 4） 第2回定例理事会（5. 13） 第2回臨時理事会（6. 10） 第3回定例理事会（9. 9） 第3回臨時理事会（メール回付）（9. 16） 第4回臨時理事会（10. 14） 第5回臨時理事会（メール回付）（11. 4）	10月30日、大統領決戦投票が実施され、労働党のルイス・イナシオ・ルーラが50, 9%を得て僅かな差で勝利した。現ボルソナロ大統領は電子投票は信頼できないとしてルーラの勝利を認めなかった。 世界的に有名はサッカー選手ペレー氏が死亡（12. 28）	新型コロナウイルスの「オミクロン株」が年明けから流行し、感染拡大の第6波のピークを迎えた2月5日、国内の1日の感染者数が初めて10万人を超えた。 北海道・知床半島の沖合を航行していた観光船が沈没。乗客乗員のうち20人が死亡し、6人の行方不明。（4. 23） 安倍晋三・元首相が奈良市の近鉄大和西大寺駅前で参院選の街頭演説中、背後から近づいた無職の男に銃撃され、死亡した。（7. 8） サッカーのワールドカップ（W杯）カタール大会で、日本代表は、強豪のドイツ、スペインを撃破し、日本中を熱狂の渦に巻き込んだ。（11月、12月）	ロシアのプーチン大統領はウクライナ侵略を開始。（2. 24）日米欧は経済制裁を強化し、ロシアに即時撤退を迫った。プーチン氏は応じず、9月30日には東・南部4州の一方的な併合を宣言した。露軍は10月から、ウクライナ全土のエネルギー施設を集中攻撃し、深刻な電力不足が市民生活に打撃を与えている。戦闘の終結は見通せない状態。 韓国ソウルの繁華街・梨泰院イテウォンで10月29日雑踏事故が起き、日本人留学生2人を含む158人が死亡。 英国史上最長の約70年7か月にわたり君主を務めたエリザベス女王が9月8日、静養先のスコットランド・バルモラル城で死去した。96歳だった。
2023年	上川陽子外務大臣は、2月20日から23日まで、G20外相会合に出席するためブラジルのリオデジャネイロを訪問。 海上自衛隊練習艦隊が8月13～17日、リオ・デ・ジャネイロ市に寄港。リオ・デ・ジャネイロ海軍基地で入港歓迎式典が催され、日系団体及び練習艦隊代表による挨拶、花束贈呈が行われた。リオ日系4団体は自衛隊幹部候補生を招待して歓迎昼食会を開催（8. 13）。 コロナが終息し、今年度の商工会活動がすべて通常に戻った。	当選したルイス・イナシオ・ルーラ氏が大統領に就任（01/01）。 前大統領ジャイル・ボルソナロの支持者約4千人が、2022年ブラジル総選挙でボルソナロの落選は認めないとして、首都ブラジリアの三権広場に集まり大統領府、連邦最高裁判所、国会議事堂をそれぞれ襲撃した（01. 08）。 選挙最高裁判所はジャイル・ボルソナロ氏の選挙立候補権利を8年間剥奪を宣言（06. 28）。	岸田首相、ウクライナを電撃訪問（3. 21）。 沖縄・宮古島周辺で陸自ヘリ事故、搭乗隊員10人全員死亡（4. 6）。 先進7か国首脳会議（G7サミット）が広島市で開催（4. 19～21）。	トルコ・シリア大地震5万人超死亡（2. 6）。 WHOがコロナ緊急事態を解除（5. 5）。 ハワイ・マウイ島で大規模山火事、約100人が死亡（8. 8）。 モロッコで大地震発生、約2, 900人死亡（9. 8）。 リビアで大洪水が発生、死者は4, 000人超（9. 10）。 ガザをイスラム主義組織ハマスはイスラエルを越境攻撃し外国人を含む約240人を人質にした（10. 7）。
2024年	リオ日系4団体共催新年祝賀会開催（1. 14） リオ日系協会第48回運動会（商工会支援）（4. 28） リオ日系フェスタジュニーナ（商工会支援）（6. 8） 連盟主催敬老会（商工会支援）（9. 29） 商工会主催親睦スポーツ大会（10. 26） 安全対策オンラインセミナー（12. 5）	記録的な豪雨によりリオグランデドスル州の478市で洪水に見舞われ183人が死亡した他、経済的にも大損害を与えた（4. 27-5. 2）。 2, 238万ヘクタールの焼失を記録し、2023年比150%増（Jan -set）。 リオ市においてG20首脳会談が開催され、石破総裁が出席され、一連の会議の期間中には、中国の習近平国家主席やアメリカのバイデン大統領らともそれぞれ会談。（11. 18 - 19）	マグニチュード7の能登半島大地震により死者数は直接死と間接死を合わせて426人、住宅被害は全壊が6, 421棟、半壊が22, 823棟、一部破損が103, 768棟。（1. 1） 東京・羽田空港の滑走路で、日本航空の旅客機と海上保安庁機が衝突、炎上した。海保機の乗員5人が死亡し、機長が重傷を負った（10. 2）。	英総選挙 労働党が圧勝し14年ぶり政権交代（7. 5） 仏総選挙 左派が勝利（7. 8） 7月26日～8月11日まで第33回オリンピックがパリで開催。 イランがイスラエルに向けて200発近くの弾道ミサイルを発射した（10. 1） 米国大統領選挙：ドナルド・トランプ前大統領が勝利、且つ上院、下院とも共和党が過半数を占めた（11. 5）。

2025年	リオ日系4団体共催新年祝賀会開催（1. 19） リオ日系/連盟共催第48回運動会（商工会支援）（4. 27） リオ日系協会フェスタジュニーナ（商工会支援）（6. 7） 佳子内親王殿下がリオ植物園内日本庭園で日伯修好130周年記念植樹され、リオ日系協会の歓迎会にご出席（リオ日系4団体共催）（6. 13）。 連盟主催敬老会（商工会支援）（9. 7）	リオデジャネイロで、第17回BRICS首脳会議が開催された（7. 6～7）。 ルーラ大統領、日本訪問（3. 24 - 27）。 日伯修好130周年を記念して佳子内親王殿下がブラジル8都市訪問し、日伯友好関係をより深められた（6. 5 -15）。 ベレンにて温暖化対策国際会議が開催された（11. 10 - 22）。	大阪・関西万博が4月に開催、10月に閉幕。 6月に日鉄によるUSスチールの買収完了（約2兆円）。 10月に初の女性首相高市内閣発足、自民・維新連立政権が樹立。	ロス山火事を日続き死者31人、経済損失約10兆円（1. 7）。 1月20日に発足したトランプ新政権が4月に第1一律関税措置、第2相互関税措置を発表。 ミャンマーで大地震発生し、日本人含み約3, 700人以上死亡（3. 28）。 イスラエルがイランの軍事施設、核施設を爆撃し12日間戦争が勃発（6. 13～25）。 ルーブル美術館盗難、被害8. 800万ユーロ（10. 19）。
-------	---	--	---	--